

ランウェイ(Runway)

自主の道 無限の創造 久遠の友情 (姫商校歌の歌詞より)

令和6年7月17日

キャリアセンター部

第 3 号

セーヌ川で行われる開会式

7月26日から始まるパリ夏季オリンピック大会の開会式はセーヌ川で行われます。各国代表選手団のためにボートが用意され、各国選手団のボートにはカメラが搭載され、テレビやインターネットの視聴者がアスリートを間近で見ることができます。10,500人のアスリートたちは、16日間にわたって競技が繰り広げられるパリの中心をボートで横断することになり、観客は無料でそんな開会式を見ることができると試みは、とても画期的ですね。何十万人もの観客がセーヌ川沿いの祝典に参加できることになり、80台の巨大スクリーンとスピーカーが配置され、開会式の雰囲気がパリ全体に広がり、誰もが楽しむことができる今回のオリンピックは、これまでとは何かが違うスポーツの祭典になりますね。皆さん、今年の夏は、100年ぶりにパリで開催されるオリンピックを楽しみましょう。日本選手の活躍を応援することはもちろんのこと、世界のアスリートたちの異次元のパフォーマンス(限界に挑む超人たちのプレー)に勇気と感動を覚えたいですね(ちなみにパリと日本との時差は7時間です)。

キャリアセンター長 武貞先生より

「やってみなくちゃ、わからない。知っていることを増やすと、良いことが増える。」
▲入試にしても就職試験にしても、チャレンジしてみないと結果はわかりません。でも確実に言えることは、チャレンジした結果の方が後悔しません。一步踏み出す勇氣の方が尊い。今より一つ上の自分に挑戦しませんか。君たちは「やったらできる」。
▲ある仕事に就きたかったら、その仕事に就くためのルート(道)は、何十通りもあります。姫路駅から姫路商業という学校に到着するまでのルート(道)は、何十通りもあります。一人ひとり違うのも当たり前ですね。自分の仕事にたどり着くのも、これと同じだと思うのです。ルートをたくさん知ってると、途中で素敵な出会いがあるかもしれません。新しい気づきがあるかもしれません。一つの道が工事中で通れなくても他の道を知っていると、結局は目的に到着できます。▲知ることを増やすために。就職は、トコトン会社を調べること。立地など求人票に書かれていないことなどを調べること。だから職場見学やインターンシップ。進学は、入試制度だけでなく、大学と学部をトコトン調べること。だからオーブンキャンパス。(国公立大学のオープンキャンパスは年に一回だけ。)▲就職も進学も情報をたくさん手に入れた者が有利です。情報収集の時期に早すぎるはありません。一年生も二年生も、もう始めて良いですよ。

求人票の受付・説明会が始まりました(3年生)



特色ある教育活動(ミュージカル)



注:ランウェイのイラストは本校マンガアニメ部の生徒の作品です。許可を得て使用しています。

田村先生よりメッセージ

前職 製造業) 社内SEでの体験談より

「後工程はお客様」
日常で当たり前のように交わされていた合言葉です。
同じ生産ラインの自分の部署より、後ろの作業者を「お客様」だと思って、お客様(後工程作業者)が喜ぶような仕事をするように心がけましょうという意味です。具体的には後工程の方が作業しやすいように工夫するなどのちょっとした心配りをしましょうというものです。
「自分さえ良ければ良い」という個人中心の視座から、職場・会社とのつながりを意識し、従業員全員が主体性と思いやりをもって仕事に取り組む、今でも私の心に残っている好きな言葉です。
誰かにお願い事がありましたら、後工程の人への思いやりを持って、依頼したいですね。



進路に関する行事 7月・8月初旬まで

7月	求人受付開始 求人発表・就職説明会(3年) 応募前職場見学会(3年) 進学説明会(3年)
8月	公務員夏季講習会 進学夏季講習会 日商簿記講習会 三者面談・ディスカッション指導(3年)



進路面接の練習を頑張りました(3年生)



編集後記

突然、何を思ったのか自分でスイカを作ろうと思い立ち、さっそく栽培を始めました。始めてみてスイカの栽培は意外に手間がかかる事を知りました。例えば、①スイカはたくさんの直射日光と水分を必要としますが、過剰な湿気や水は根腐れの原因になるため、水やりは慎重に行うこと ②スイカは雌花と雄花が別々に咲くので、受粉には昆虫に頼るか人工的に受粉させること ③肥料の種類やその与え方に注意することや土壤の水はけを良くして根系を健康に保つことなどなど、実際、日々の水やりや土壤(肥料)の手入れ、受粉や下引き用の藁の準備など手がかかります。でも、すごく良いこともあります。それは、スイカの苗が日々変化する様子に一喜一憂されることです。スイカの苗が伸びるととても嬉しいなり、逆に元気がないと、何か悪い病気になったのではないかとても心配になります。最初の頃はそうでもなかったのに、こんなにもスイカに惹かれている自分に驚かされます。今は、収穫したスイカを労わるように手に取って満足そうに眺めている自身の姿を想像しています。ところで、皆さんは今、何か大切に育てているものがありますか。